

1. 「関西広域連合」について

奈良県が関西広域連合に参加しなくとも、県民の生活や安全に影響がないのか伺いたい。

（知事答弁）

16番奥山先生の質問にお答え申し上げます。最初に関西広域連合について、奈良県が関西広域連合に参加しなくても、県民の生活や安全に影響がないのか伺いたいということでございます。山下議員の質問に対しまして、そのような面についても多少触れさせていただきましたが、関西広域連合に参加しなくても大丈夫だと、全く大丈夫だと思っております。

歴史の中で奈良県が大阪府から分離した経緯をお話になりました。大阪堺県になり、大阪府になり、政治、経済が大都市に集中するのはある面実勢というのはありますが、政治が集中して住民にいいのかどうかという課題があったわけでございます。まあ結果的に明治20年に分離したんですが、そのような例は奈良県・大阪府だけではございませんで、愛媛・香川にも同じ事情がございました。明治21年に愛媛・香川が愛媛県であったのが、香川が分離した事例がございました。その時点で47都道府県が確定したわけでございますが、奈良県と同じように香川がさびれるとか、政治が愛媛中心だとかという理由で、香川が分離したという歴史が残っております。

いろんな県で、政治をどのような行政区域でやるかというのは、まだまだ明治以来の行政区域を、道州制であればなおさら変えていくという大きな作業でございますので、大事な話だと思います。

連合のようなものでございますと、知事がそれぞれおられますので、どこかの知事がちよつと旗を振っていないと、動かないという組織になる可能性がございます。大阪湾ベイエリアの事例を申し上げましたが、そのような持ち回りか、連合体というのは誰かが率先しないと、各県の知事は忙しゅうございますので、そのうちみんなが飽きちゃうとですね、旗振り役がいなくなると動かなくなるということは本当に心配しております。新規の時だけの旗になっては有権者に迷惑をかけるというふうにも思う次第でございます。恒常的に存在する組織でございますので、連合が働け働けでいいわけでございますけれども、そこに入らなくても県民の生活や安全に影響は全くないというふうに思っております。